

【1-17】

湾・灘の区分	伊予灘
取組の名称	大分市身近な自然観察会
事業期間及び事業費	事業期間： 1996年度(平成8年度)～継続実施中 事業費： 105(千円)←2018年度9月開催分のみ
事業体制	大分生物研究会(講師)/大分市環境対策課(事務局)
事業の背景・目的	市内の身近な自然環境を観察することにより、自然の大切さと自然を守り育てる意識を高めることを目的に、平成8年度より毎年度実施している。「OITA自然観察ガイド」に掲載されている12の地点の中から開催場所を選定。2018年度9月に、12地点のうち1つである「大在干潟(大在海岸)」にて自然観察会を実施。
事業場所の詳細	<p>大在干潟(大在海岸)</p>   <p>出典：国土地理院HP (https://maps.gsi.go.jp/) より作成</p>
事業内容	・干潟に生息する生物の観察(講師による解説等もあり)
取組による効果・影響及びその判断基準等	アンケート結果によると、おおむね好意的な意見が多く、参加者の環境保全意識の向上につながっているものと思われる。
現状での課題	干潟を含めた自然環境保全の啓発事業として、可能な限り多くの人に参加してもらいたいところであるが、最寄りの駅やバス停等が開催地から離れている等の交通の問題から、啓発の対象である参加者の人数が少なくなることもある。
今後の予定等	今後も自然観察会の事業を継続していく予定なので、今後も、講師との協議等を踏まえ、この「大在干潟」を開催地として選択する可能性は十分にある。
取組事例についての発表資料等	
情報提供元	大分市 環境部 環境対策課